雲の上のまち

広報ゆすはら

2026〈令和8年〉
11月号
No.821



台湾の写真家 許震唐氏撮影

第13回 龍馬脱藩マラソン大会


10kmの部スタート

龍馬脱藩マラソン大会は、日本の夜明けを切り開いた明治維新の志士たちが駆け抜けた「脱藩の道」をコースに取り入れ、地域住民および、関係団体や、行政機関、学校が協働し、町のPRや地域の活性化につながることを目的として、平成23年度より開催しており、10月11日に第13回を開催しました。

【参加者】

北は北海道から、南は沖縄県まで1057名の方のエントリーをいただきました。当日は、976名の方が出走され、940名の方がみごと完走されました。



前夜祭集合写真

【前夜祭】

坂本龍馬が脱藩前夜に志士達と酒を酌み交わしたという逸話にちなんで、参加ランナーの相互交流が図れるように大会前日に前夜祭を開催しました。

椿原町婦人会の皆様による椿原町ならではのおもてなし料理でランナーの皆様をお迎えし、椿原高校ディスカバークラブによる津野山神楽「天の岩戸」で前夜祭がスタートしました。その後、チーム椿原のよさこい演舞に加え、今年は町制施行60周年記念事業として、特別ゲストに女子マラソン元日本代表の坂本直子さんをお迎えし、トークショーを開催しました。坂本さんから、アテネ五輪に出場した時のエピソードやレース前の食事の内容、坂道を走る時のポイントなどをお話いただき、ランナーは熱心に耳を傾けていました。

【大会当日】

秋晴れの下、空岡則明実行委員長による開会宣言とともに大会が開幕されました。高橋基文名誉大会長の歓迎の挨拶に続き、山田哲也高知県スポーツツーリズム課長、椿原町が平成3年より友好交流協定を結んでいる大和一哉西宮市教育長、市川岩亀椿原町議会議長からご祝辞をいただきました。そして、西宮市との友好都市特別賞として椿原町の那須孝子さん、西宮市の江渕陽樹さん、町制施行60周年記念として千葉県の松岡浩嗣さん、椿原町の中越誠さんに特別賞が贈呈されました。また、長年、学校を挙げて本大会を盛り上げていただいている椿原高校と椿原学園の皆さんに感謝状が授与されました。最後に椿原町と昭和51年に友好町村盟約を宣言した東吉野村 橋本教育長による選手宣誓


東吉野村 橋本教育長による選手宣誓


特別ゲスト 坂本直子さん

橋本眞一東吉野村教育長に選手宣誓をいただき、開会式は終了しました。

その後、フル、ハーフ、10キロの順にスタートし、ランナーの皆さんは各エイドや沿道で地域の皆さんや学生達の温かい声援に励まされながら、汗ばむ陽気の中、坂道の多い厳しいコースを懸命に走っていました。

表彰式では、各部門3位までの選手に表彰状とメダルが授与されました。

各区長を中心に、多くのボランティアの皆様のご協力のおかげで本大会を開催することができました。また、地域の皆様からの温かいご声援をいただいたことで、大会が盛り上がり、ランナーの皆さんの励みにもなりました。ボランティアにご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。


キツい登山道


全ランナーが通る大越の坂


エイドで学生がおもてなし


韮ヶ峠折り返し

【大会結果】

各部門の優勝者の方は次のとおりです。（敬称略）

- フル18歳～49歳の部 男子 **大竹　宏和**（愛媛県）
- フル50歳以上の部 男子 **遠藤　紀元**（いの町）
- フル18歳～49歳の部 女子 **二神　美幸**（愛媛県）
- フル50歳以上の部 女子 **佐竹　一美**（高知市）
- ハーフ18歳～49歳の部 男子 **前田　涼**（愛媛県）
- ハーフ50歳以上の部 男子 **山本　英明**（四万十市）
- ハーフ18歳～49歳の部 女子 **伊丹　咲**（高知市）
- ハーフ50歳以上の部 女子 **水野　美枝子**（愛媛県）
- 10km 18歳～49歳の部 男子 **伊勢脇　厚哉**（四万十市）
- 10km 50歳以上の部 男子 **吉永　誠**（愛媛県）
- 10km 18歳～49歳の部 女子 **揚田　奈穂**（いの町）
- 10km 50歳以上の部 女子 **宮田　香織**（愛媛県）

【ランナーの声】

●初めて参加し、前日に桂浜と龍馬記念館を訪れて事前学習。龍馬の思いをのせて脱藩を試みました。登りが厳しいとは知りながら、あの山道のトレイルは相当でした。上からの声援に何とか引っ張りあげてもらった感じでした。ゲストや沿道の応援も力になり楽しかったです。（40代フル）

●学生ボランティアの応援には、今年も本当に元気をいただきました。何度も心を奮い立たせてもらい、また走ろう！と思える原動力になっています。昨年、ハーフを走って坂のすごさは知っていたつもりだったが、今年フルに挑戦すると「ハーフの坂なんてかわいいものだった」と思わされるほどのタフさで、良い意味で圧倒されました。（50代フル）

●文化祭のような雰囲気やノリで、体育祭のような元気な学生さんの応援や運営から、エネルギーを貰いに参加しました。フルマラソン名物の頂上付近トレイルコースは、試走時は、普通の林道でしたが、大会では草がなく、落ち葉や枝も落ちていないピカピカの状態に整備されていて運営者さん達の愛を感じました。ありがとうございます。（50代フル）

ご参加いただきましたランナーの皆様ありがとうございました。

龍馬脱藩マラソン大会
実行委員会



フルマラソンの部 トップランナー

町制60周年記念事業 ゆすはらグルメまつりFinal

10月3・4日の2日間、最後のゆすはらグルメまつりが、椿原町総合庁舎駐車場及び周辺を会場に開催されました。

ゆすはらグルメまつりは、国道440号の開通を機に、愛媛県からの交流人口を増やすことを目的に始まり、これまで10回開催し17万人の来場者を迎えました。当初の目的を果たし次へのステージへ進む時期が来たということから、今年の開催が最後となりました。

今年は1日目は天候に恵まれ1万2千人、2日目は雨天となりましたが、9千人が来場し、2日間で昨年を上まわる2万1千人の来場者となりました。

46店舗（椿原町13店舗、高知県内（椿原町を除く）16店舗、愛媛県内12店舗）の出店の他、交流都市ブースでは奈良県東吉野村に出店いただき、兵庫県西宮市、北海道下川町、熊本県小国町、新潟県津南町についてはご当地ドリンクの販売を行いました。また、木工ワークショップが楽しめるわくわく木育広場等も開催されました。

町制60周年記念事業の一環ということもあり、記念ロゴを印字した木の粉を使用したプラスチックタンブラーにゆすはら雲の上観光協会が栽培しているぶどうを使った特製ドリンクを入れて先着200名に販売。その他、雲の上テーブル商品であるスパークリングワインを購入いただいた先着60名に、雲の上の温泉ペア無料入浴券をプレゼントしました。

完売する商品も続出し、最後を飾るにふさわしい2日間となりました。

これまで長期間にわたりこのイベントをご支援、ご協力いただきました関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

椿原町グルメまつり
実行委員会


愛媛のTV局でPR


非公式
キャラクター
つねたかくん



60周年メッセージボードの前で、
最後の挨拶


店舗の前に並ぶ人、人、人、、、、

当日の様子を
まとめた動画が、
椿原町の
公式YouTubeに
アップされています。
ぜひご覧ください。

第37回 土佐牛まるかじり大会 開催



9月26日、第37回土佐牛まるかじり大会が椿原川河川敷にて開催されました。

天気が心配されたなかでの開催は、開始直後は晴れ間も見え、持ちこたえるかと思われましたが、途中1時間ほど雨が降りました。早々に帰る方もいらっしゃいましたが、雨が上がったあとは最後まで持ちこたえ、涼しい中での開催となりました。

町内外から約600人の方に来場いただき、愛媛県をはじめとする県外の方々にも多くお越しいただきました。

七輪席とドラム席、人数に合わせた席で土佐和牛の炭火焼きバーベキューを堪能いただいた他、町内事業者の出店ブースも好評でした。

例年好評のアメゴのつかみどりコーナーでは、200匹を放流し、世代を問わず多くの皆様に楽しんでいただきました。

椿原町グルメまつり
実行委員会


例年好評のアメゴのつかみどり

高知県障害者スポーツ大会フライングディスク競技

10月4日、高知市総合運動公園陸上競技場で、第28回高知県障害者スポーツ大会フライングディスク競技が開催されました。この大会は、障がいのある方がスポーツを楽しむとともに、県民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的とした大会で、競技には県外からも多数の選手が参加され、椪原町からは5名が出場しました。当日はあいにくの雨にもかかわらず、選手のみなさんは日頃の練習の成果を存分に発揮し、素晴らしい結果を残されました。

保健福祉課

参加者氏名	種目（午前）	種目（午後）
宮本 友和	アキュラシー 5m	ディスタンス（遠投）
中越 真由美		
松田 明日香		
西村 賢一		
中越 安平	アキュラシー 7m	

アキュラシー：プラスチック製の円盤を投げて目標の輪（ゴール）を正確に通過させる

ディスタンス：フライングディスク（円盤）を投げて、飛距離を競う



横断幕を掲げて記念撮影
左から宮本さん、西村さん、中越（安）さん、松田さん、中越（真）さん



午前銀メダル、午後金メダルと大活躍の安平さん



真由美さんはディスタンスで銀メダル



初出場の松田さん

企業版ふるさと納税

株式会社四国ネットから寄付

この度、株式会社四国ネットから、「魅力ある生業と地域を支える産業の発展を目指す事業」、「椪原令和の森林づくり事業」に対し、「企業版ふるさと納税」制度を活用した寄付をいただき、10月27日に感謝状を贈呈いたしました。心からお礼申し上げます。

株式会社四国ネットは、1975年創業で主に吾北地域を中心に土木工事を行うとともに高知県全域において法面保護工事に取り組み、地域の安全と安心を支えるインフラ整備に尽力されています。安全性と施工品質を最優先に、高い技術力と真摯な仕事で、地域社会の安心につながる確実で丁寧な施工を心がけ取り組まれています。



まちづくり産業推進課

第13回 椿原町芸術祭開催

10月24日、25日に町制施行60周年記念事業及び「よさこい高知文化祭」地域文化発信事業として第13回椿原町芸術祭を開催しました。

ゆすはら・夢・未来館2階大ホールでは、町民作品展及び学校作品展を開催しました。一般の方や、椿原こども園・椿原学園・椿原高校から約400点を超える力作が出展され、展示を行いました。

24日には、ゆすはら・夢・未来館1階ロビーで、椿原茶道クラブによるお茶の接待を行いました。

25日には、ゆすはら・夢・未来館1階会議室にて、「わくわく創作コーナー」を開催し、間伐材バッチの色入れや、画用紙や色紙を使ったメッセージカード作成などのイベントを実施しました。また、午後からはゆすはら座において町民ステージを開催しました。

文化協会の各サークルをはじめ、和太鼓クラブ、椿原学園音楽部、そして須崎市からドリーム（コーラスグループ）をお招きし、大変賑わったステージ発表となりました。

芸術祭の開催にあたりご協力いただいた皆さまに、改めて御礼申し上げます。来年度も多くの出展や発表をお待ちしております。


お茶席の様子（24日）




わくわく創作コーナーの様子（25日）

学校作品展入賞者

硬筆の部

1学年
- 金賞　立道　蒼亮
- 銀賞　森山　光希
- 銅賞　松田　夏芽

2学年
- 金賞　秋澤　一凛
- 銀賞　中越　正登
- 銅賞　二神　涼眞

3学年
- 金賞　原　希実子
- 銀賞　寺元　虎佑
- 銅賞　前田　有裕子

4学年
- 金賞　中越　捺
- 銀賞　魚濱　澄
- 銅賞　中越　妃叶

5学年
- 金賞　田代　己鈴
- 銀賞　下元　ゆな
- 銅賞　上田　華暖

6学年
- 金賞　田尾　心花
- 銀賞　中越　さちの
- 銅賞　市川　愛矢花

7学年
- 金賞　森山　旬
- 銀賞　中越　愛永
- 銅賞　西村　秋仁

8学年
- 金賞　長田　みのり
- 銀賞　佐竹　沙也子
- 銅賞　津野　優希音

毛筆の部

3学年
- 金賞　中越　奏
- 銀賞　那須　朋佳
- 銅賞　西川　和希

4学年
- 金賞　立道　成
- 銀賞　中越　菜月
- 銅賞　中越　斗翔

5学年
- 金賞　秋澤　蒼佑
- 銀賞　宮内　美來
- 銅賞　中越　樹生

6学年
- 金賞　西村　葵衣
- 銀賞　武田　希美
- 銅賞　中越　春菜

7学年
- 金賞　高橋　優奈
- 銀賞　髙見　琴子
- 銅賞　中越　心瞳

9学年
- 金賞　石戸谷　小美
- 銀賞　森山　一成
- 銅賞　中越　幸一

図画の部



8学年
- 金賞　上川璃心
- 銀賞　西村莉愛
- 銅賞　中越沙南

9学年
- 金賞　宮内美璃
- 銀賞　西村悠生
- 銅賞　西森妃世
- 銅賞　松下和愛

1学年
- 金賞　中越一旗
- 銀賞　今城双葉
- 銅賞　森山光希
- 銅賞　吉門叶多

2学年
- 金賞　二神涼眞
- 銀賞　中越正登
- 銅賞　秋澤一凛

3学年
- 金賞　前田有裕子
- 銀賞　森田悠生
- 銅賞　河野朱莉

4学年
- 金賞　中越悠仁
- 銀賞　立道成
- 銅賞　魚濱澄

5学年
- 金賞　宮内美來
- 銀賞　秋澤蒼佑
- 銅賞　前田祥利
- 銅賞　山本陽友

6学年
- 金賞　田尾心花
- 銀賞　中越新太
- 銅賞　杉原侑

7学年
- 金賞　正岡里菜
- 銀賞　森山琴子
- 銅賞　高見琴子
- 銅賞　西村美緒

8学年
- 金賞　上川璃心
- 銀賞　長田みのり
- 銅賞　津野優希音

9学年
- 金賞　下元健吾
- 銀賞　髙山花和
- 銅賞　宮内美璃
- 銅賞　明神奏瑠





町民作品展の様子









町民ステージの様子（25日）

椿原町芸術祭実行委員会

リユースイベント10月25日「くるくるショップ」開催

椥原町廃棄物減量等推進員連絡協議会では、毎年芸術祭に合わせて「くるくるショップ」を開催しています。

この、「くるくるショップ」は、まだ使えるけれど不要になった不用品を持ち寄り、必要とする人へつなぐ、リユース（再利用）によるごみの減量を目的とした取組です。

当日は、推進員の自宅や近所の方から預かってきた洋服や生活雑貨、さまざまな物が新しい持ち主へと渡り、約１３４kgを、リユースすることができました。


リユース品の計量

不用品をごみとして捨てるのではなく、繰り返し使うことでごみの減量や環境への負担の軽減につながります。

椥原町廃棄物減量等推進員連絡協議会では、今年度は高齢化や生活状況の変化などによるごみ収集場所の見直し、ごみの減量や適正な分別を推進するため、「椥原町のごみの出し方・分け方マニュアル」の見直しに取り組んでいます。

「一人ひとりができる環境への取組」

- 買い物の際は、必要な物だけ購入し、食品ロスを減らす
- マイバッグやマイボトルを活用し、ごみを減らす
- 使っていない部屋の照明や電化製品の電源はこまめに切る

これからも地域の皆さまと協力しながら、環境にやさしい取組を目指しています。皆さまのご理解・ご協力よろしくお願いいたします。

椥原町廃棄物減量等推進員連絡協議会
会長　西川　陽子
環境整備課　生活環境係


くるくるショップの様子

高幡消防組合消防職員採用資格試験



第一次試験	令和9年1月23日㈯
第一次試験	令和9年1月24日㈰
採用予定日	令和9年４月1日付
試験区分	初級
採用予定人員	若干名（採用後、津野町に在住できる方）
勤務署	津野山分署又は葉山出張所
受付期間	令和8年11月20日㈮～12月25日㈮ 8:30～17:15(土･日除く)
受付場所	高幡消防組合消防本部（須崎市）／津野山分署又は葉山出張所
問合せ先	高幡消防組合消防本部　☎0889-43-1272 高幡消防組合津野山分署 ☎0889-40-1099　葉山出張所 ☎0889-55-2330

私にしか出来ない地域を守る「消防士」になる

雲の上の図書館だより

YUSUHARA COMMUNITY LIBRARY JOURNAL　0889-65-1900

図書館オリジナルグッズ

2018年に図書館が開館して以来、多くの方にご購入いただいている図書館オリジナルグッズ。あらためて図書館キャラクター「くもっぴー」とオリジナルグッズをご紹介します。図鑑や絵本、大きめの本がすっぽりと入るA3サイズの帆布バッグ2種類と、単行本が約 7冊入るバッグ(3色)があります。また、くもっぴーのフィギュア2種類があります。バッグはどれも普段使いにぴったりなので、ぜひ図書館で手に取って見てください。グッズは図書館のみで販売しています。



図書館のロゴをあしらったシンプルなバッグです。



飛びくもっぴー



立ちくもっぴー

図書館キャラクター：**くもっぴー**

雲の上の図書館に生息している雲の妖精です。「雲の形」と「ヒョンの木(ゆすのき)の実」の形をモチーフにしています。
ヒョウヒョウと鳴きながら館内を舞っています。



消えた秘宝をめぐる物語

『女王陛下に捧ぐ、王家の宝の在処』

著者：市塔　承

戦火に巻き込まれ、傷を負った青年エリメ。実家で療養中に手に取った一冊の本を読み始めると、そこには王家の隠された秘密が…。物語の中の物語を読むという不思議な一冊になっています。



寒い冬には温かいスープを…

『365日のスープ』

著者：macaroni

365名の人気インスタグラマーや料理家さんたちが季節にマッチしたスープのレシピを考案！ 365人の「おいしい」がつまった一冊になっています。ページをめくればあなたの食べたいスープが見つかるかも。



ご紹介した本が貸出中の場合は、予約ができます。お気軽に図書館カウンターまでお問い合わせください。

12月の休館日(6日、12日 停電作業の為、臨時休館)
1日,6日,8日,12日,15日,22日,25日,29日

図書館マメ知識 新着本は、一般書から絵本までそれぞれ置いている場所が違います。一般向けは1階交流広場近くの観音開きの棚。絵本は絵本コーナー入口。児童書は中2階こどもコーナー。中高生向けは2階閲覧コーナー近くです。

栂原こども園だより

わくわく運動会

10月17日、子ども達がよく遊ぶ図書館前の芝生広場で『わくわく運動会』を行いました。

それぞれのクラスが、日頃から遊んできた運動遊びを組み合わせたり、バージョンアップさせたりして、子ども達がわくわくするような競技、「やってみたい！」「面白い！」と思うような競技になるよう、工夫を凝らしました。



みんなで準備体操♪「がんばるぞ！」

0歳児ひよこ組も、親子で競技に参加しました。1歳児りす組・2歳児うさぎ組のお友達は、おいしそうなお寿司になって、踊りやかけっこ競技などをしました。



0歳児ひよこ組



1歳児りす組



2歳児うさぎ組親子うさぎ寿司へ「へい！いらっしゃい」



3歳児ぱんだ組



4歳児きりん組



5歳児ぞう組

かけっこ競技では、年齢が大きくなるにつれ、自分なりに目標をもって走ったり、競争心も芽生えてきたりしていることが、その姿や表情からも伝わってきました。

できるようになったことを大勢の人の前で披露し、気が急いていつもの調子が出せなかったりする子どもも、途中で投げ出さずに、ゴールを目指していた姿に感動しました。そして、子ども達の一番の笑顔はやっぱり親子競技。おんぶや抱っこをしてもらって、とっても嬉しそうでした。

園では引き続き、子ども達が体を動かす楽しさが感じられるよう、発達年齢に応じた運動遊びを保育に取り入れ、活動していきます。



5歳児竹馬



4歳児親子競技

園に親子で遊びに来ませんか？4月を除く偶数月の第3火曜日は「ふれあい子育て」を行っています。満1歳以上のお子さんが対象となります。ご希望の方は、園に直接申し込みをしてください。（☎40-2111）

こども園ホームページ

椿高だより

第13回龍馬脱藩マラソン大会にボランティアとして参加

10月11日、第13回龍馬脱藩マラソン大会が開催され、本校の生徒もボランティアスタッフとして参加し、地域の方々や中学生と協力しながら、大会運営を支えました。

当日は快晴に恵まれ、気温も高く、ランナーにとっては厳しいコンディションとなりました。そのような中、生徒たちは補給食の配布や体を冷やすスポンジの準備、伝統芸能「津野山神楽」によるお出迎え、会場アナウンス、写真撮影など、さまざまな活動に取り組みました。





今回のボランティア活動は、生徒たちにとって、地域の方々との交流を深めるとともに、地域行事を支えることの大切さを学ぶ貴重な機会となりました。

今後も、地域の一員としてさまざまな活動に積極的に参加し、地域とのつながりを大切にしていきたいと考えています。

地域の「もったいない」をおいしさに！椿原つめつめキーマカレー

龍馬脱藩マラソン大会では、本校の「総合的な探究の時間」の活動から生まれた「椿原つめつめキーマカレー」の販売も行いました。

このカレーは、規格外野菜の有効活用を通して食品ロスを減らしたいという思いから、MOTTAINAIBATON株式会社と共同開発したものです。規格外となった土佐甘長とうがらしや米ナスに加え、ジビエである鹿肉を使用した、後味がピリッと辛いキーマカレーです。





これまでに「狩猟フェスタ」「龍馬脱藩マラソン」「商い甲子園」で販売してきました。今後は、12月12日㈯に高知市の丸ノ内緑地で開催される「農業教育フェア」でも販売する予定です。

なお、今後の製造については未定となっており、今回が最後の販売となる可能性もあります。

生徒たちのアイデアから生まれた、地域の食材を生かしたカレーです。この機会に、ぜひ一度ご賞味ください！

第2回キャリア教育講演会を開催

10月15日、第2回キャリア教育講演会を開催しました。この講演会は、津野山地域中高一貫教育の取組の一環として実施しており、椿原学園8年生、東津野中学校2年生、椿原高校の生徒が参加しました。



今回は、高知工科大学の長崎政浩教授を講師にお迎えし、プレゼンテーションをテーマにご講演いただきました。講演では、「プレゼンテーションは、単に自分の考えを伝えるだけでなく、相手の心を動かし、行動につなげるもの」というお話を中心に、映像や具体例を交えながら、効果的な伝え方について分かりやすく教えていただきました。

生徒たちは、聞き手の立場に立って考えることや、情熱を持って伝えることの大切さを学ぶとともに、伝える力が自分の可能性を広げ、社会を変える力にもなることを実感する貴重な機会となりました。

今回の学びを、今後の学校生活や進路選択、将来のさまざまな場面で生かしていくことを期待しています。

地域と連携した合同避難訓練を実施

10月22日の2時間目に、椿原高校、椿原こども園、YURURIゆすはらによる合同避難訓練を実施しました。

今回は、震度6強の地震とその後の火災を想定し、身を守る行動をとった後、一次避難場所の芝生広場へ避難しました。その後、園児や施設利用者の皆さんと協力し、二次避難場所である椿原町役場駐車場へ移動しました。





高校生は園児と手をつないだり、車椅子の移動を補助したりしながら、安全に配慮して避難しました。

今回の訓練を通して、避難経路の安全確認とともに、地域で協力し、助け合うことの大切さを再確認することができました。

二重の視界

濁水渓（ローツイケー）（台湾）と四万十川（梼原）写真展示会のお知らせ

現在、台湾の写真家 許震唐（シューチェンタン）氏が、台湾と約1カ月間にわたり梼原で撮影した風景の写真展示会が雲の上のギャラリーで開催されています。ぜひご覧ください。（会期12月10日㈭まで　観覧無料）初日の10月10日には許氏による写真解説を行いました。

合わせて、この展示会では会期中スマートフォンやカメラで撮った何気ない梼原の風景を募集しています。お構いなければ、左のQRコードより写真をアップロードしてください（できれば圧縮していないものをお願いします）。

ゆすはら雲の上観光協会

許氏撮影写真


津野山神楽


天狗高原


建築


放流


棚田


森と渓流

ゆすはら未来大使に彫刻家 小野寺るか氏

10月22日、県内を中心に活躍されている、彫刻家小野寺るか氏にゆすはら未来大使を委嘱させていただきました。

ゆすはら未来大使は、本町にゆかりや愛着のある方々に、国内外において本町の観光情報をはじめとするPR情報の発信やまちづくりのアドバイス等をいただき、本町の認知度を高め、交流人口や定住人口の拡大を図ることで持続可能な町づくりにつなげることを目的としています。

この度、ゆすはら未来大使に就任いただいた小野寺氏は、高知市展の彫刻専門委員などを務められているほか、高知県展の彫刻部門でも長年審査等で貢献され、無鑑査作家として、今年の第80回県展を記念した県展功労者として表彰されています。

また、この度のゆすはら未来大使の就任にあたり、小野寺氏が作成された作品を梼原町に寄贈していただく運びとなりました。11月22日㈰に雲の上の図書館において寄贈式を執り行い、図書館内において展示される予定です。

図書館を訪れる方が作品を通じて芸術に触れる機会が増えていくことを願い、小野寺氏の未来大使としてのご活躍を期待しております。


ゆすはら未来大使任命式

まちづくり産業推進課

観光協会だより

写真ワークショップが開催されました



9月26日・27日、台湾の写真家 許震唐（シュー・チェンタン）さんによる写真ワークショップが開催されました。左の写真は許さんが撮影している様子、下の写真は実際に許さんが町内で撮影した写真です。

許さんは、長年にわたり故郷や河川、海、環境、そこに暮らす人々を撮影し続けているドキュメンタリー写真家です。自分の故郷を何十年にもわたって撮り続け、「たとえ村がなくなったとしても、写真の中に故郷を残したい」という思いで、土地の記憶や人々の暮らしを記録してきた方だそうです。ただ「きれいな写真を撮る」というだけではなく、その土地に生きる人や自然、文化、時間の流れまで写真に残してきた写真家。そんな方から、直接写真について教えてもらえる貴重な体験でした。



写真は「見る」ことから。「じっくり見ること」「意味を見つけること」の大切さを教えていただきました。両日ともあいにくの天気でしたが、身近な景色やものをじっくり観察し、自分なりの視点で撮影に挑戦しました。

私たち住民にとっては当たり前の日常の風景も、棲原を知らない人にとっては、非日常の特別な景色かもしれない。そんなことにも気づかされた2日間でした。

今回講師をしてくださった許さんが棲原で撮影した写真の展示会を10月10日～12月10日まで、雲の上のギャラリーと雲の上の図書館の両会場で開催されますので、ぜひ足を運んで、許さんが切り取った棲原の風景をご覧ください。

ワークショップ参加者の写真をご紹介





ゆすはら雲の上観光協会

ゆすはら雲の上観光協会メールマガジン登録はこちら

9月の利用者数

宿泊者数
1,516人
（前年比121%）

ガイドツアー
人数/組数
189人/18組

『Sマーク〈標準営業約款制度〉』をご存知ですか？

高知県では、**理容・美容・クリーニング**の3業種で、厚生労働大臣の認めたルールに従って、**安心・安全・清潔**のサービスを提供しているお店を、**標準営業約款登録店舗**とし、**Sマーク**の表示でお知らせしています。

毎年**11月**を「**標準営業約款普及登録推進月間**」として、消費者の皆様へは**Sマーク**の周知、営業者の方には登録を呼びかけています。

お近くの店先を探してみませんか。

Safety 安全であること
Standard 安心であること
Sanitation 清潔であること

【問合せ先】
（公財）高知県生活衛生営業指導センター
☎088-855-5100

《世界人権宣言78周年》12月4日から10日までは人権週間です。

基本的人権及び自由を尊重し確保するために、世界の全ての人々と全ての国々とが達成すべき共通の基準として、昭和23年（1948年）12月10日の第３回国際連合総会において「世界人権宣言」が採択されました。

国際連合は、世界人権宣言採択を記念して、採択日の12月10日を「人権デー（Human Rights Day）」と定め、加盟国に対し、人権擁護活動を推進するための各種行事を実施するよう要請しています。

このことから、法務省及び全国人権擁護委員連合会は、世界人権宣言採択の翌年の昭和 24年（1949年）以来、関係機関等の協力を得て、「人権デー」を最終日とする１週間を「人権週間」と定め、世界人権宣言の意義を訴えるとともに人権尊重思想の普及高揚に努めてきたところです。

そこで、本年も、12月4日から同月 10日までの１週間を「第 78回人権週間」と定め、各種啓発活動を実施しようとするものです。

高知地方法務局及び高知県人権擁護委員連合会においても、今年度の人権週間行事のひとつとして、県内の主要箇所で「特設人権相談所」を開設し、DV、セクハラ、ストーカーなどの女性に関する人権問題や、児童虐待、いじめ、体罰などこどもに関する人権問題、高齢者や障害者に対する差別や虐待、その他くらしの悩みごと等、人権に関する御相談をお受けします。相談は無料で、秘密は厳守します。

お気軽に、最寄りの「相談窓口」を御利用ください。

「くらしの悩みごと相談所」

12月２日（水）に、高知よさこい咲都合同庁舎で「くらしの悩みごと相談所」が開催されます。同会場において、人権擁護委員が、地域住民の皆さんの様々な悩みごとの相談をお受けいたします。相談は無料で、相談内容の秘密は厳守します。皆様、お気軽にお越し下さい。

日　　時	**令和８年12月２日(水)** **午前10時から正午 / 午後1時から午後4時まで** （相談予約受付は12月1日正午まで）
会　　場	**高知よさこい咲都合同庁舎８階相談室** 高知市栄田町２丁目2-10
相談担当者	**弁護士資格を有する人権擁護委員**
相談内容	**差別待遇、暴行・虐待、いじめ、ＤＶ等並びに家庭、近隣関係等における法律・人権問題に関するあらゆる相談**
そ の 他	**事前予約制です。**
予約連絡先	**高知地方法務局人権擁護課（TEL 088-822-3503）**

毎年11月30日は「年金の日」です

11月30日（いいみらい）は、国民お一人おひとりに「ねんきんネット」等を活用して、ご自身の年金記録や公的年金の受給見込み額を確認していただき、高齢期の生活設計に思いを巡らしていただく「年金の日」となっています。

「ねんきんネット」は年金記録や年金見込み額を確認できるサービスです。

国民年金の加入月数や納付状況等の最新の記録をパソコンやスマートフォンから手軽に確認できます。

【ねんきんネットのQRコード】

詳しくはこちらから

https://www.nenkin.go.jp/n_net/

また、マイナンバーカードをお持ちの方であれば「マイナポータル」からログインすることで年金記録の確認ができます。

国民年金保険料を納めないまま放置すると、年金を受け取ることができない場合があります。

保険料を納めるのが難しい場合は、申請することで、保険料の納付が免除、または猶予される制度があります。

くわしくは日本年金機構ホームページまたは総務課住民係（☎65-1111）まで

もしものときのために話してみませんか？ 人生会議

厚生労働省では、11月30日を「人生会議の日」とし、人生の最終段階における医療・ケアについて考える日として普及啓発を行っています。

【人生会議を知っていますか？】

「人生会議」とは、病気やケガなどで、自分の気持ちを伝えられなくなったときに備えて、自分の思いや希望を家族や身近な人、医療・介護の関係者と繰り返し話し合い、共有する取り組みのことをいいます。

誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。命の危険が迫った状態になると約70％の方が、これからの医療やケアなどについて自分で決めたり、人に伝えたりすることができなくなるといわれています。もし、家族や身近な人が本人の希望を分かっていれば、いざというときに迷わず伝えられるようになります。人生会議は、自分のためにも、家族のためにもなる大切な準備といえます。

しかし、人生の最終段階や延命治療について話し合うことだけが人生会議ではありません。自分にとって大切なことやこれからどのように生きていきたいか考えることも、人生会議の第一歩です。

【人生会議って何を話すの？】

いきなり難しいことを話し合う必要はありません。例えば、

- どんな暮らしを大切にしたいか
- どんなときに幸せを感じるか
- どんな場所で過ごしたいか
- 病気や介護などで困ったとき、誰に相談したいか
- 自分の希望を伝えられなくなったとき、誰に思いを託したいか

など、普段の何気ない会話の中で、自分の思いや希望を伝えてみることから始めてみましょう。話したことは、ノートやメッセージカードなどに残しておくと安心です。

家族や身近な人、かかりつけ医など自分の信頼できる人に話しておくことで、いざというときに周りの人が、自然と「あなたらしい選択」をしてくれると思います。

【きっかけをつくるタイミング】

人生会議を始めるタイミングに決まりはありません。家族が集まるときに「これからのことを少し話してみようか」と切り出すのもいいでしょう。

また、病気や介護をきっかけに考え始める方も多いと思いますが、元気なうちに始めておくことで、自分の考えを整理しやすく、家族とともに前向きに話し合うことができます。

自分の気持ちや希望は、年齢や健康状態、生活環境などによって変わることがあると思いますが、人生会議は何度でもやり直すことができます。大切なのは、最初から答えを決めることではなく、自分の思いを周りの人と共有し、繰り返し話し合っていくことです。「まだ元気だから」「何を話せばよいか分からない」と思っている方も、まずは自分が大切にしていることを考え、家族や身近な人と話してみませんか。

【人生会議は未来のために、「今」を大切にすること】

皆さんは、これからどのように暮らしていきたいですか？

「住み慣れた家で暮らし続けたい」「家族や友人との時間を大切にしたい」「好きなことを楽しみながら過ごしたい」など、自分らしい暮らしへの思いは人それぞれ違います。

自分が大切にしていることやこれからどのように過ごしていきたいかを考え、家族や身近な人と話し合っておくことは、これからの人生を自分らしく歩んでいくための大切な一歩です。

人生会議は、「死」に向き合うための話し合いではなく、「生きること」を見つめるための時間であり、「自分らしく生きるために、これからどうしたいか」を考える前向きな話し合いです。自分が大切にしたいことを考え、伝えることで、残りの人生をより豊かに過ごすことができるのではないでしょうか。今を大切に、これからの人生を自分らしく生きるために、一度、家族や信頼できると、人生会議を開いてみませんか。

保健福祉課多世代包括支援係

人生会議についての研修会



もしものときに、あなたの想いを大切にするために。
「自分らしく生きること」について、考えてみませんか？

日　時：令和8年12月8日(火)
場　所：保健福祉支援センター4階
参加費：無　料
申込み：保健福祉課（☎65-1170）

【申し込み期日】12月2日(水)まで

12月の行事予定

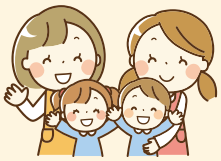
8日㈫　行政相談（9:00～12:00）
12日㈯　大越粗大ゴミ受入日・環境整備デイ
20日㈰　椿原町交通安全の日
24日㈭　椿原高校2学期終業式
25日㈮　椿原学園2学期終業式
27日㈰　消防団年末警戒パトロール（30日まで）

※行事予定は変更となる可能性がありますが、ご了承ください。

12月の保健福祉課行事予定

2日㈬　松原サテライトデイサービス
　　男性の料理教室
3日㈭　四万川宅老所
　　インフルエンザ予防接種（中学生以下：保健福祉支援センター）
4日㈮　初瀬いきいきふれあい広場
　　インフルエンザ予防接種（小学生以上：保健福祉支援センター）
7日㈪　げらげら家族会
8日㈫　人生会議研修会
9日㈬　東区宅老「えくぼ」
　　愛育相談
10日㈭　越知面デイサービス友の会
　　四万川いきいき交流会
11日㈮　エプロン会再研修
13日㈰　ウォーキング教室
17日㈭　四万川宅老所
18日㈮　東区いきいきふれあい広場

月曜日～金曜日　子育て世代包括支援センター（支援センター1階）
※妊娠や子育てに関する相談がありましたら、気軽においでください。
（電話でも構いません。☎65-1170までお願いします。）



川畑真理子心理カウンセラーの相談日（月2日）……21日（月）、22日（火）
※相談希望の方は、子育て世代包括支援センター ☎65-1170までお願いします。

※行事予定は変更となる可能性がありますのでご了承ください。

寄付のお礼

このほど、次の方々からご寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。
紙面を持ってお礼とご報告申し上げます。

【ふるさとづくり寄付金】
鈴木　克幸　様
赤堀　真意子　様
植田　邦彦　様
村井　永典　様
杉山　蒼真　様
津野　幸一　様
松下　和樹　様
中越　裕文　様
清水　秀幸　様
他匿名希望の方　166名



【広報へのご寄付】
加藤　朝弘　様（愛知県）

●おくやみ

住　所	死亡者名	年齢	死亡年月日
仲　洞	又川芳子	97	令和8年10月3日
田野々	川上冨美尾	94	令和8年10月22日

※個人情報につき掲載の了解をいただいた方を掲載しています。

文芸

柚子の木俳句会

八十五才の稲刈り今年限りかな　西村由利子
漆黒の闇の向こうや秋の虫　西森誠子
早速に千代さんも居る菊人形　中平忠雄
思い出すピンクの芙蓉(ふよう)ほろ酔いと　中越郁子
刈り揃う茶畝のみどり秋高し　渡辺瑞枝
無事帰る夫の背後に後の月　吉田敬子
秋の陽の木漏れ日浴びて墓参り　中越昌一
後の月人生は流れ星落つ　広瀬卓雄

「無事帰る夫の背後に後の月」
後の月は、十三夜、名残りの月とも言う。十五夜は望月であるが十三夜は満月の二夜前の欠けた月を言い、これを愛でるのも日本ならではの奥ゆかしさと言われます。どこかへ出かけた夫が無事帰り、その背を後の月がずっと見守ってきたように感じます。

杉の子俳句会

秋簾(すだれ)すでに役目は終りても　下元廣幸
小鳥来る朝の光に包まれて　久岡智子
刈り終えて酒と新米恵比須さま　西村幸枝
天高く脱藩マラソン人の波　西村蓉子
スモックの裾を袋に栗拾ふ　氏原陽子
津野山のイベントチラシ小鳥来る　川田早苗
芋の露故郷の空を映しおり　明神伊佐子
絵手紙に「スイスへゆく」と鰯雲　掛橋初子
源流点旅立つ一滴彼岸花　影浦鉄心
月見かな一等席をくれた人　大﨑みなと
苦瓜は裂けて真紅の種を吐く　内野純子

「秋簾すでに役目は終りても」
真夏の光を遮るための簾です。しかし秋風が吹く頃になってもまだ立て掛けてある簾。中七下五に人生を重ねてみました。てもの後に続く思いが感じられます。椿原の元気老人の気概が汲み取れます。

広報委員のつぶやき

秋の訪れを感じさせてくれる「稲わらの香ばしくどこか懐かしくて癒される匂い」を嗅げることが少なくなったように思います。

先日、長い間美味しいお米を分けてもらっていた農家さんが「今年で米作りを止める」と言われ、最後のお米をいただきました。

道路際にあるその農家さんの田に、ついに猿が現れ、雨風の被害もなく立派に育った黄金色の稲穂を、道路の反対側を何列も倒して食べていたのです。「猪の侵入を防ぐ柵を張っていても猿には何の効果もなく、猿が入るようになっては手の施しようがない。今年で終わりにするつもりはなかったけど、情けなくてやる気も無くなった」と言われていました。

今までそこで猿が稲穂を食べた話は聞いた事がありませんでした。食べる物が無く、また人や車におじることも無くなってきたのでしょうか・・・。季節の移ろいを五感で感じていた、そんな場所が無くなるのは寂しいことです。

また、獣害以外でも「新米卸値下落、生産コストの上昇で経営が圧迫されることが懸念される」等の報道を耳にすると、米作りを止めてしまう農家が増えるのではないかと心配です。猿については他の田でも、ふと目にした時は、稲刈り後に茶色くなった藁でも置いているかのように見えた物体は、車が近づくと一斉に山に逃げる十数匹の猿の群でした。とても驚かされました。田にこぼれた穂を食べていた光景だったようです。

私の集落は、住民より見かける猿の数がはるかに多いです。九月初旬頃に川をはさんで対峙する山から、日常会話なのか、威嚇しているのか、猿達の声だけが響き渡ったことが数日ありました。

今年は柿も少ないと聞きます。猿も餌に困る事でしょうが、対策などありません。大切に育てた作物をこれ以上荒らさず、民家の裏山の木で遊び、大きな音を立ててもチラッと見て逃げようとしない猿達が、庭先までも餌を求めて来ない事を願います。

広報ゆすはら11月号 No.821

外国語指導助手(ALT) ティヤバ先生着任

帰国されたカーター先生の後任として、10月21日に新しいALTのフレドリク・アマリ・ティヤバ(Fredrick Amari T'yava)先生が着任されました。愛称は「ティー先生」です。椿原学園や椿原こども園の子どもたちに英語を教えていただきます。

ティー先生にインタビューを行いましたので、紹介させていただきます。

出身地について

みなさん、こんにちは。私は新しいALTのフレドリク・ティヤバです。出身はアメリカでハイチ系アメリカ人です。ケネソー州立大学(ジョージア州ケネソーにある総合州立大学)のアジア研究学科を卒業しました。皆さんにお会いできて嬉しいです。どうぞよろしくお願いします!

私の故郷は「マリエッタ」という街です。ジョージア州アトランタの北にある小さな街です。

地元にはたくさんの学校のスポーツチームがありますが、みんなメジャーリーグの「アトランタ・ブレーブス」が好きで、応援しています。とても賑やかで騒がしい街ですが、楽しいことやきれいな見どころがたくさんあります。

趣味

普段はアニメを見たり、ゲームをしたり、音楽を聴いたり、本を読んで過ごしています。長い一日の終わりにこういう時間があると、とてもリラックスできます。また、お天気が良い夜には星空を眺めるのが何よりの楽しみです。

ALTとして取り組みたいこと

英語の楽しさを伝えるために、ワクワクするようなアクティビティを子どもたちと一緒にやっていきたいです。「これって英語でなんて言うの?」と、いつでも気軽に聞きに来てほしいです。そして、少しずつ自分の英語に自信を持てるよう応援していきます!

椿原町のみなさんへメッセージ

日本に来るのは初めてです!椿原のみなさんとお会いできるのをとても楽しみにしています。町で見かけた時は、ぜひ気軽に「こんにちは!」と声を掛けてくださいね。お話しながら、このすばらしい椿原町のことをもっと知っていきたいです。

温かく迎えてくださり、本当にありがとうございます。これから皆さんと一緒に過ごせることを心から楽しみにしています。



生涯学習課　学校教育係



だっぱん屋

YUSUHARA LOCAL FOOD

椿原の味を、大切なあの人へ。

今年のお歳暮は、椿原から贈りませんか?

県外で暮らすご家族やご親戚、お世話になった方へ。
椿原の手づくり焼き菓子をお届けします。

だっぱん屋の焼き菓子・ギフトセット

クッキー・パウンドケーキなど、心を込めた手作りのお菓子をご用意しています

全国発送承ります!

オンラインショップからご注文いただけます
tel 050-3591-4591 椿原町茶や谷666

オンラインショップ
dappanya.base.shop

椿原町公式ホームページ
https://www.town.yusuhara.lg.jp/

わが町の人びとの動き

	世帯数	人口
	1,656(10月末)／1,659(9月末)	2,948(10月末)／2,952(9月末)

出生	死亡	転入等	転出等
0	3	3	4

発行所／高知県高岡郡椿原町役場
☎0889-65-1111
発行／椿原町役場　編集／椿原町広報編集委員会　印刷所／㈲中島出版